

## 手話（しゅわ）について（キッズ・モニター アンケート）

### 実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
子ども・福祉総務課	2022年12月09日から 2022年12月26日まで	561	158	28%

今回は、障がい福祉課（しょうがいふくしか）からのおねがいです。

三重県では、耳の聞こえない人のコミュニケーションの方法である「手話（しゅわ）」を大切にするため、「三重県手話言語条例（みえけんしゅわげんごじょうれい）」を定め、聞こえる人と「ろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）」が、おたがいを尊重（そんちょう）し、だれもが「手話」に親しみ、「手話」が広く利用される社会になることをめざしています。

今回のアンケートでは、みなさんに、「手話」をどれだけ知っているか、どれくらい「手話」に接する（せつする）機会があるか、などについてお聞きしたいと思います。

みなさんの声をぜひ聞かせてください。

### ■ Q1 あなたの年代について

あなたの年代は、どれですか。

合計	158	
小学生	61	38.6%
中学生	56	35.4%
高校生	41	25.9%
その他	0	0.0%

### ■ Q2 手話（しゅわ）にふれたことについて（1）

あなたは、これまでに、手話にふれたことがありますか。

（「手話にふれる」とは、手話を使う人に会ったり、手話を見たり、体験したり、学んだりすることです。）

合計	158	
ある	123	77.8%
ない	35	22.2%

### ■ Q3 手話にふれたことについて（2）

Q2で「ある」と答えた人にお聞きします。

それはどのような場面でしたか。

あてはまるものをすべてえらんでください。

合計	123	
学校で、手話にふれたことがある	90	73.2%
ボランティア活動で、手話にふれたことがある	15	12.2%

テレビや本、インターネットなどで、手話にふれたことがある	57	46.3%
家族や友人、知り合いなど、身近な人で手話を使う人がいる	6	4.9%
身近な人ではないが、手話を使う人に会ったことがある	19	15.4%
その他	8	6.5%

#### ■ Q4 手話への関心について

あなたは、手話に関心がありますか。

<b>合計</b>	<b>158</b>	
関心がある	58	36.7%
どちらともいえない	79	50.0%
関心がない	21	13.3%

#### ■ Q5 三重県手話言語条例（みえけんしゅわげんごじょうれい）について

あなたは、平成29年4月1日に「三重県手話言語条例」ができたことを知っていましたか。

<b>合計</b>	<b>158</b>	
知っていた	10	6.3%
知らなかった	148	93.7%

#### ■ Q6 ろう者について

あなたはろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）と話したいと思いますか。

<b>合計</b>	<b>158</b>	
思う	34	21.5%
どちらかといえば、思う	54	34.2%
どちらかといえば、思わない	27	17.1%
思わない	8	5.1%
わからない	35	22.2%

#### ■ Q7 「手話」が使われるために必要なことについて

あなたは、「手話」がたくさんの人に使われる三重県になるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて教えてください。

<b>合計</b>	<b>158</b>	
家庭で、手話とろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）について話し合うこと	41	25.9%

学校で、手話とろう者について学ぶこと	93	58.9%
ろう者から、直接（ちよくせつ）話を聞くこと	63	39.9%
ろう者と耳が聞こえる人が、いっしょに活動する機会（きかい）をつくること	98	62.0%
地域（ちいき）のイベント等を通して、手話とろう者について知ってもらうこと	61	38.6%
三重県手話言語条例の内容（ないよう）について、広く知ってもらうこと	37	23.4%
わからない	5	3.2%
その他	3	1.9%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。  
All Rights Reserved, Copyright(C)2006. Mie Prefecture